

## 進路ウイーク（6月7日～11日） ～邇摩高校ジョブトーク開催～

県総体お疲れ様でした。部活動をしている3年生の多くは、ひと段落したのではないのでしょうか。さてこれから皆さんが突入していくのは、就職試験あるいは大学、短大、専門学校の入試に向けた受験勉強です。まだ、やりたい仕事や行きたい学校が決まっておらず焦っている人もいるかもしれません。また、部活動を引退してもなかなか気持ちが切り替えられずにいる人もいるかもしれません。

そこで、総体が終わった6月7日（月）からの1週間を本校では進路ウイークと銘打って、3年生の皆さんには気持ちを切り替えてもらうために、1、2年生の皆さんには、自分の進路について早い段階から目標を持っていただくため、進路について考えてもらう期間とします。

この進路ウイークのイベントとして6月8日（火）に邇摩高校ジョブトークが開催されました。邇摩高校ジョブトークとは、地元企業の若手社員による本音を聞いたり、質問したりするトークセッションを中心とする進路イベントです。それを通して地元企業への関心を高め、就労を見据えたキャリアプランを立てる一助とすることが目的です。

今回参加して下さった企業は、大田市からイワタニ島根、島根県食肉公社、中村ブレイス、仁摩福祉会、美郷町から山興緑化、江津市から若女食品の6社で、最初に代表の方に会社の概要説明をしていただき、その後に若手社員によるトークセッションを行いました。4社からは、本校を卒業した先輩に来ていただきました。事前に考えた質問に答えていただく形で進められ、生徒たちも身近な先輩の生の話を聞くことができ、いいアドバイスが得られたと思います。

年度当初の予定では、この日に進路ガイダンスとして、広島県を中心とした専門学校からも参加していただく予定にしておりましたが、新型コロナウイルスの影響で広島県は緊急事態宣言中であることから断念し、地元企業を中心としたこのような形態といたしました。進学を希望する皆さんは、各校のホームページの情報を小まめにチェックし、オープンキャンパス等の情報にも注意してみてください。

企業が高校新卒を採用する際に重視する能力としては、「協調性」「コミュニケーション能力」「基本的な生活態度」「責任感」「積極性」「職業観」「人柄」「基礎学力」の順で挙げられ、特に「協調性」「コミュニケーション能力」「基本的な生活態度」が重要視されるそうです。その理由として会社はひとつのチームであるから、なによりもチームワークが大事という考えがあるようです。同様のことが、高校での部活動でもいえると思います。ある企業では「学校を無遅刻無欠席で、部活動を3年間続けている人は信頼感が持てる」といって是非とも採用したいそうです。まだ入部していない1年生諸君、是非この機会に入部を検討してみてください。高校で身につけておきたい力が部活動を頑張ることで自然と備わっていくと思います。

会の最後に今回の企画でお世話になった島根県西部県民センターの山藤コーディネーターから、人はなぜ働くのかという問いに対し、『『人間の究極の幸せとは、1) 人に愛されること、2) 人に褒められること、3) 人の役に立つこと、4) 人に必要とされること』である。この4つのうち3つ（2～4）は、働くことによって得られるものです。』とありました。つまり就職先を決めることは幸せになるためにもとても大切であるといえます。自分にあった仕事とは、「やりたいこと」・「やるべきこと」・「できること」が合致した仕事がベストとされますが、「やるべきこと」・「できること」は実際に就職して業務を遂行することでわかってきたり、できることが増えてきたりするので、高校生の進路選択ではまずは「やりたいこと」重視でいいのではないかと思います。

この進路ウイークを機に自分の進路についてじっくり考えてみてください。

